



鈴秀四季



『京都大原三千院にて』 撮影：譜久島

秋思 しゅうし

第11次中期3カ年計画

誰にも負けない努力をする

鈴秀工業株式会社

昨年度は、コロナ渦における移動手段の見直しなどにより自動車需要の拡大を受け、自動車関連受注が回復。また、テレワーク普及などによるパソコン・タブレット用の半導体需要も高まり、年始からはフル生産体制となりました。さまざまな業界で減収減益となっている状況下ですが、おかげさまで当社においては過去最高となる売上を達成しました。V字回復出来たのも、皆さんのたゆまぬ努力のおかげです。本当にありがとうございました。

さて、9月21日より、第11次中期経営計画がスタートしました。この3年は“Withコロナ”“Afterコロナ”という、これまで以上に柔軟な対応と変革が求められる期間だと感じています。創業95年目を迎え、100年を超え200年続く企業として生き残っていくために今やるべきことは、より鈴秀らしさを磨くことです。「一人ひとりが自らの仕事に誇りを持ち、一つひとつに気概を持って手を抜かずに取り組む。そんな積み重ねが工程を経るごとにカタチとなり、お客様を通じて世の中を便利にしていく。」先達から受け継いできた、この風土を大切にしながらも、ビジョンに示した通り、ニーズに基づいた独創的な仕事を模索し、より高い壁に挑戦する3年間としたい。

私が常務に就任して5年、これまで「皆がその能力を発揮できる環境の整備」と、「市況変化に収益を左右されない状態」を目指してきました。この5年での変化を皆さんはどのように感じているのでしょうか。経営数字だけで見ると、良い方向に向かってきています。しかしながら、安定した企業にありがちな、保守的な雰囲気や漂い始めていませんか？多数に押され、とがった少数意見を潰していませんか？現状に満足して、すべてが中途半端な仕事に終わっていないのでしょうか？

現状に甘んじることなく次のステージに駆け上がっていくため、この3年のスローガンは、

「誰にも負けない努力をする」

としました。残業をして、猛烈に働くというわけではありません。高い目標を立て、それに向かって挑戦しつづける姿勢を持ってほしい。そんな想いをもって、ともに挑んでほしいという願いからです。不透明な時代だからこそ、今できることに全力で取り組んでほしい。現在は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力の結果。そうであるならば、誰にも負けない努力をした我々には、かならず素晴らしい未来が待っているはずです。さあ、ともにやりましょう！



常務取締役
鈴木 雅貴

鈴秀レディ、ただいま絶賛活躍中!!

今秋発表された、鈴秀工業 第11次中期計画のビジョンにも謳われている、

「すべての従業員がその特性を活かし、活躍し続けられる制度・環境へ」

当社では近年、常務の提唱で総務を中心に女性が活躍できる環境作りをひとつのテーマとして取り組んでいます。

総務部で働く入社半年の私、遠野としても非常に興味ある題材で紙面をいただき、素敵な既婚、結婚予定の先輩の方たちとの座談会という形で特集させていただくこととなりました。



① 共働きとお金

女性が活躍する社会…。今や夫婦共働きは一般的ともいえますが、気になる家計の管理について突っ込んでお聞きしたいんですが…。

二宮さん：私のところは別々で管理してますね。旦那さんの給料の額は知らないけど、子どもにかかるお金のことは負担してもらってます。

笹原さん：私のところも別管理。けれど大体把握はしてますね。家賃や食費は二人で管理って感じです。

田中さん：うちの場合は、私がすべて管理してますね。旦那は“おこづかい制”で管理！

石黒さん：私も！お互いが“おこづかい制”にしています。

佐々木さん：うちも私が管理してますねえ。

(*オブザーバーで先輩が山口から声だけ参戦)



お父さん、お母さんたちの世代では一般的だった“おこづかい制”の【昭和タイプ】は根強いんですね。どっちがいいんでしょうか？

二宮さん：別管理の方がシンプルでいいと思いますよ。困ることといえば、子どものための貯金をどうするかってことかなあ。

石黒さん：私んちの場合、マイホーム資金を貯めるっていう目標があるから、だんぜん“おこづかい制”。二人の目標にもなってるんで。

そうですが、各々の自由度で考えると別管理、家族共通の目的で貯蓄するには一括管理の方がいいかもしれませんね。

ところで現実問題として東京のような大都会は別ですが、鈴秀の女子社員の場合、地元で結婚というパターンが多いですね。

子育ても含めて、やっぱり実家は近いほうがいいですね。

二宮さん：そりゃ、断然近いほうがいい。けど少々遠かろうが、なんだかんだ言いながら帰っちゃってますけどね。

藤長さん：私の場合、実家で自分の親と同居していますが、正直いろんな局面で親の手助けをもらえるのはとてもありがたいですね。



② 子どもを産むということ

全国的に問題となっている【少子化】ですが、現在お子さんをお持ち、これから出産を予定されている皆さんの現状を教えてくださいませんか？

笹原さん：私は兄弟がおおかったんで「自分もたくさん子どもほしいなあ」なんて思うんですけど、生活(お金)のことを考えると、「やっぱり一人かな」なんて思っちゃいます。

田中さん：子ども手当の制度は、まだ継続してるんですか？

二宮さん：もらえるけど、2万円/月。それも3歳からは1万円に下がるんだよね。

藤長さん：他地区の情報を聞いて思うんですが、山口県は子育て支援の制度がまだまだだなあと感じています。コロナ助成金についても、不合理なところがあるような気がします。家計を支え、子どもをしっかり育てる女性をもっと応援してほしいなあ。

私(遠野)にはまだまだ現実味のない出産ですが、みなさんの不安や困りごとについて伺いたいのですが。

田中さん：私の職場(テクノ鈴秀)は、振動のある機械を操作します。もし妊娠して就労を続けた場合、なんらかの影響がないかなあ、と少し不安はありますね。

笹原さん：私にとっても出産はやっぱり不安。どこで産むかにもよるけれど、「産婦人科」のこともしっかり調べておかないと、ですね。

二宮さん：出産に旦那さんが立ち会える病院なのかとか、仕事を持つ旦那さんが通院の手助けができる立地にあるのかってのも大事だよ。

笹原さん：けれど結局、「総合的にどこがいいのか」って、一人で判断するのは難しいなあ。

二宮さん：やっぱり友達に聞いたり、ネットのクチコミを見たりするのがいいんじゃない。私の場合は【ママ専用アプリ】を使って情報得たよ。SNSとかの【出産レポート】なんかを見たりしてた。不安なことがあっても同じ状況、悩みをもってる人がいるんだって思うと少し安心できたし。

笹原さん：ほんとにクチコミは大事。【ママ専用アプリ】なんてあるんだ。全然知らなかった。不安といえば、お金のこと。出産にかかる費用についても心配ですね。「いろいろと出費が多いんだよ」って聞くと、とても余裕を感じられなくて、思い切れない部分があるのは確かですね。

石黒さん：出産のときのお金はどうなるんだろう？

《出産手当》が健康保険組合から、一人当たり42万円が支払われますよ。

田中さん：ところで《育児休業》って、いつからとれるんですか？

産前6週間、産後8週間を《産前産後休暇》として、出産から1年間を《育児休業期間》として給付を受けられます。特に保育園に入れないなどの場合は、最長で2年まで受けられます。

③ 育児休業とその過ごし方

長い妊娠期間を経ての出産。さらに子育てとなると大変だということは充分に理解できます。育児に専念できる制度として存在する《育児休業》ですが、利用された先輩方はどのように過ごされたんでしょうか？

二宮さん：育休中は、ゆくりできてよかったなあ。(シミジミと)

そのおかげで、赤ちゃんもしっかり向き合えた。お母さんになった自覚も芽生えて、自分も少しは成長できたと思う。

藤長さん：私もです。子育ては初めてのことはばかりで戸惑うことも多かったけれど、同居している家族の協力もあって、とても助かりました。

育児休業後の仕事復帰のためには、避けて通れないのが【保育園問題】だと思います。ご経験された先輩(二宮さん)の場合はどうだったんでしょうか？

二宮さん：ほんとと、保育園って希望する園に入るのが難しいんだよね。この部分に関しては、「本当に日本は少子化？」って思っちゃう。友達もみんな悩んでたし。

石黒さん：保育園は、いつから申し込みができるの？出産前から申し込んでる人もいるみたいだけど…。

二宮さん：申し込みの期間は決まってる、出産前でもOK。私は出産後に即、申し込んだよ。早くから自分で調べておかないと。定員とか預けられる時間とか、認可保育園なのかとか…。「さあっ」てなった時、入れる園がないってことになるから大変。当然、申し込んだって抽選だから、必ず入園できるってわけじゃないもんね。

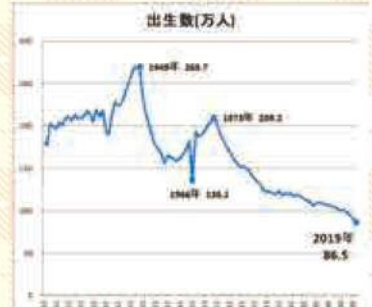
④ 職場復帰に向けて

お子さんを預けられる【保育園】が決まり、いざ復帰となった際に不安はありましたか？

田中さん：以前と同じ職場に配属されるかどうか心配ですね。

二宮さん：うちの会社の場合、基本的に職場は変わらないんじゃないかな。私の元の職場は営業部だったんで受注や納期調整、締め切り…あっ、それと突発のあれやこれやで遅くなることも想定されて、子どものことが大変だと思ったの。だから製造部に異動させてもらったけど、鈴秀には育休経験がある女性がまだまだ少ないから、会社としても復帰ママへの理解は浅いんじゃないかなとも思う。そんな私でも、休む時は子どもの心配よりも仕事の心配しちゃうもんね。

笹原さん：私の職場(テクノ鈴秀)環境での仕事内容だったら、復帰後も大丈夫だと思うな。



全国の合計特殊出生率の推移
*1「合計特殊出生率」とは一人の女性が一生に産む子どもの数の総称です

出生年	出生数	出生率
1970年	193万人	1.88人
1980年	157万人	1.75人
1990年	122万人	1.54人
2000年	119万人	1.36人
2020年	84万人	1.34人

2020年度順位	
1位	沖縄県 1.86人
14位	山口県 1.58人
23位	千葉県 1.45人
24位	愛知県 1.43人



職場に復帰したあと、子育てで同志ともいえる“ママ友”たちとの交流なんかは続いているんでしょうか？

二宮さん：残念ながら、働きだすとママ友との交流はなくなりますね。地元の友達とも平日は会えないし、保育園のママたちもみんな働いている人ばかりだから挨拶程度。

藤原さん：小学校でもママ同士の関わりはほとんどないかなあ。特に今はコロナの影響で、お迎えの時も話をしちゃうまでで言われています。だから地域交流センターなどの施設を利用して情報交換なんかしておけばよかったなあと思っています。

《育児休業》が終了し、職場に復帰しても、まだまだ子育てには様々な問題があるはず。同じ世代の子どもを持つママ同士、いろんな情報が得られるはずなのに、関わりが少なくなるとなかなか難しいですね。

働く女性のホンネ、聞いちゃいます！



①イクメン～男性社員の《育児休業》取得について～

最近では男性社員の《育児休業》取得も進んでいます。鈴秀工業でもこの1年間に子どもを産まれた9人のうち、6人が2、3週間から2か月程度を取得しています。みなさんの場合、旦那さんにも取得してほしいとお考えですか？

石黒さん：テレワークで家にいてくれたらありがたいかな。2人目ができたときは、上の子の面倒を見てもらいたいから取得してほしいですね。

二宮さん：旦那さんの会社の雰囲気分からないから、積極的に取得してほしいとは思わなかったですね。休んだことによって仕事や後の出世に影響が出るくらいなら取らなくていいと思っちゃう。あと、現実問題として給料が減っちゃうので働いてもらおう！

支給される金額は、それまで貰っていた1日分の給料の67%（6ヶ月以降は50%）となり減額すると思いがちですが、土日を含む日数分が支給されます。さらに支給分には所得税はかかりませんし、健保・年金が免除になる場合もあります。

全員：へえ～。実質の手取り額は、思ったほど減らないんだねえ～。

②女性活躍のその先

社会（主に会社）での女性活躍の延長線には、『管理職への道』が見えてきますが、皆さんのお考えを聞かせてください。

藤原さん：先輩の山田さんから、「仕事のやりがいと、家庭との両立バランスがとて難しいのでは？」という言葉ももらっています。

二宮さん：管理職を意識するのであれば、各人がスキルアップするための環境が必要だと思う。まだまだ鈴秀にそれがあるって言いえないなあ。例えば、女性を含んだ研修って全然ないよね。男性のばっかで。仕事と家庭を両立しながら、レベルアップを目指せるのが理想的。

笹原さん：そうですね。大事な会議への出席機会は結構あるので、やりがいは感じてます。もし会社負担で学びの場を得られるのであれば、ありがたいですね。知識やスキルが身につく、後輩ができたなら仕事を引き継いで、次のステップに進む。だからこそ自分がどこを目指せばいいのか、組織・上司が自分に対して何を求めているのか分かればいいのかと思います。

③部署の異動について

女性活躍に世の中がシフトする中、過去に女性事務員に望まれていたルーティーン作業にとどまらない【適材適所】が必然となります。その際に発生する部署の異動について、みなさんのご意見を。

二宮さん：全然いいと思います。私は出産を機に異動したけれど、社内のいろんな人とかかわりができるし、全然関係ない経験や事象、考え方が結果的につながることもあるから。

藤原さん：私の場合、現場と事務所を何度か行き来しました。正直いえば、現場には女性でできることと、できないことがあると実感したのも事実です。そういう意味では少し難しい部分もあるかもしれませんね。

笹原さん：部署異動、私はあります。知識も増えるし、新しい可能性を発見できるかも。



④その他、「こうだったらいいな」と思うこと

要望とまではいかないにしても、ご意見としてあればせつかなので…。

二宮さん：働くママからすれば、《2時間単位での有給休暇》や《子どもに関係する特別休暇》が欲しいですね。どうしても急に休まなきゃいけない時があったり、帰らなきゃいけない時があるの、そんな時に対応できるしくみがあるとありがたいです。

石黒さん：体調のことだけでなく、学校や地域の役員業務とか、通学時の旗当番なんかもあるもんね。《繰り越し有給休暇》とか《子どもの誕生日休暇》とかもあるといいね。ちょうど1歳の誕生日から復帰ってことになるから。

笹原さん：1歳の誕生日（＝職場復帰日）に休もうとすれば、以前の有給の残りをを使うってことなんですか？

《育児休業》期間は出勤扱いになるので、1年分の有給数は付与されています。だから、復帰した時から最大日数に戻っていますよ。

座談会を終えて、みなさんの感想です。

田中さん 最年少ながらも落ち着いており、しっかり家庭を支えるしたたかさを持った女性です。
座談会の感想
《育児休業》のことなど、これから先自分が経験する可能性のある事柄について、貴重なお話が聞けて嬉しかったです。《育児休業》後の仕事についても、どうなるのかわからないのが不安でしたが、経験者のお話を聞いて安心しました。今後もこのような機会がありましたら、是非お話を聞かせて頂きたいです。

笹原さん 転職経験を持ち、達観した雰囲気があります。的確な意見をくれるお姉さんタイプの女性です。
座談会の感想
産婦人科選びやママ友事情、出産にかかる費用のことなど、なかなか聞けない情報を知ることができて、本当に勉強になりました。ありがとうございました！《女性活躍》という面で男性・女性という性に囚われない個人の得意分野を仕事に活かせる環境作りや、個人それぞれがスキルを伸ばし、積極的に仕事参加するための勉強会や研修を増やしてほしいと思います。

二宮さん ハツラツとしていて、何でも包み隠さず教えてくれる保育園児のお子さんを持つママさんです。
座談会の感想
みなさんとたくさんお話が出来て、とても楽しかったです。ワーママにとって、もっともっと働きやすい環境作りをお願いします！

石黒さん 品証一筋。素直に答えてくれ、お茶目な部分も。最近ハマっているものは“にんにく塩”だそうです。入籍予定の9月が待ち遠しいですね。
座談会の感想
参考になったことが多かったの、このような機会を増やしていけたらなと思います。コロナが収まったら(o_ _)o)

藤原さん 現場での勤務経験もあり、バワフルでしゃっきり小学校低学年のお子さんを持つママさんです。
座談会の感想
普段お話しすることがない方と交流出来て良かったです。山口と名古屋では、子育て環境に多少違いがあるのだなと感じました。また機会があれば色々とお話をしてみたいです。

今回、残念ながら出席できなかった先輩たちからもメッセージが。

山口工場の山田 由季さんから
【女性活躍】、【働く母として】などのご意見を紹介します。
・職場で活躍するために必要なもの
仕事の上で求められる社員としての成長は、男女の区別はないと思っています。従事している業務のスキルアップは常に意識しています。スキルを構成している【知識】と【経験】は特に重要で、教育する立場になった時には正しい【知識】を持っていく必要はない。だからわからないことがあれば、必ず上司に聞いたり自分で調べたりして勉強しています。外部の講習に参加するだけでなく、業務に関わることに興味を持って接することで【経験】値を上げていくことも成長だと思っています。
・ワークライフバランス
仕事のための成長にとどまらず、人間としての成長こそが重要だと考えています。時には趣味に没頭してリフレッシュすることも大切です。自己啓発の書籍に触れることも成長のきっかけになりました。『禅語（禅の教えを説く言葉）』についての書籍にはハッとさせられました。
・子育てにひと段落したらやってみたいこと
自分のために「習い事」に通ってみたり、友達との旅行…。ソロキャンプもいいですね。



《育児休業》を終えて復帰される本社製造部の**田村 光さん**からのメッセージ
保育園を事前に決めることができていたので仕事復帰にあたり余裕を持って準備することができました。完全に《育児脳》となってしまっているの、そろそろ頭の中にある仕事の引き出しを引っ張り出さない。
1年ぶりの仕事復帰への不安、そして育児との両立…。不安いっぱい毎日です。

個人情報保護のため、可愛らせて頂きます。

《育児休業》を終えて復帰される山口工場の**里 麻美さん**からのメッセージ
2回目の《育児休業》を経て、10月に職場に復帰します。第一子の時、保育園問題に遭遇して困った経験がありましたが、事情によっては《育児休業》の延長ができることを教えてもらい安心しました。
その他、会社から《時短勤務》や働きやすい環境の提案をしてもらい、とても心強かったです。
これはママさんワーカーの私からの要望なのですが、《時間単位での有給休暇》の取得ができればとても助かります。

個人情報保護のため、可愛らせて頂きます。

ご参加、ご協力をいただいた素敵な先輩方、本当にありがとうございました。
編集部 野野

『ネジ』と小栗と『工作機械』



今回ばかりは歴史に興味がない人たちにもぜひ知ってもらいたい、私たちにちょっと関係ある人物のおはなしです。

作家 司馬遼太郎はその人のことを『日本近代化、明治の父』と呼びました。

徳川幕府を中心にこの島国は運営され、その世界感は列島の中だけ。鎖国というシステムを崩し、近代日本への扉を開けたのは、1853年4隻の黒船襲来でした。

京都、水戸、薩摩、長州、土佐…そして江戸。全国各地で数々の物語が展開します。それからたったの15年の間、キラ星のごとく志士と呼ばれる英雄が生まれ、たくさんの若者が死んでいきました。時代は大きな転換期、大半の人たちが目前に展開される事態に翻弄されるなか、この国の20年、50年先を見据えていた人物が崩壊寸前の徳川幕府にいたのです。

その人の名は、『小栗上野介忠順(オグリコウスケノスケタマサ)』。



『鉄』が国を守るのだ

わが鈴秀工業が扱っている素材は「鉄」。江戸時代の鉄の需要といえば、刀や鉄砲、農機具や調理道具などが一般的です。鉄道も飛行機も、自動車も建機ありません。そんな日本にでっかい「黒船」がやってきました。しかもその船にはたくさんの鉄製の鉄砲が設置されていました。その射程距離は2,000~3,500m。幕府所有の青銅製大砲の射程は500~600m程度。この差は歴然。しかもその船自体も「鉄」できています。日本でも昔から「たたら」で「鉄」を作っていました。しかし大量生産はムリでした。大砲のように大きな兵器を製造するには良い「鉄」が大量に必要でした。有力な藩はこの現実を認めて、大量に鉄を作れる「反射炉」をこぞって建設していったのです。そう、この時代「鉄」こそが、島国日本を海外列強から守ることができたのです！

『NO』といえよサムライ

外国から迫られる開国要求、朝廷と有力諸藩に渦巻き高まる鎖国、攘夷(外国はやっつけろ!)の声、決断を迫られた大老井伊直弼は「開国やむなし」との判断を下します。



「日米修好通商条約」締結。そしていよいよ今回の主人公、小栗忠順(オグリタマサ)登場です。条約批准文書交換のため派遣される遣米使節の目付に幕府勘定方の仕事を任されていた33歳の小栗を抜擢。米国の「ポーハタン号」で渡米します。護衛船としてオランダから購入した「咸臨丸」には勝海舟や福沢諭吉、ジョン万次郎が乗船し日本人の操船で初めて太平洋を横断したと伝えられています。

40日余りの航海の後、サンフランシスコに到着。小栗が見たアメリカは驚く事ばかりでした。貿易を行うにあたって大切な価値の共有、当時は「金」を基準としていました。アメリカが提示してきた交換比率が不適だったため小栗は堂々と交渉、彼はアメリカに対して臆することなく、最初に「NO」といった日本人でもありました。



びっくり小栗

小栗はワシントンにある海軍の工場を訪問しました。そこで見た大量のスクラップヤード。日本では貴重な「鉄」のカタマリがゴロリと放置されていました。案内された製鉄設備は「鉄」の大量生産が可能。軍艦をつくる材料には事欠きません。まったく日本とは比較にならない生産力です。

小栗をさらに驚かせたのは、その「鉄」を加工する工作機械の技術。いくら大量に「鉄」があっても、硬い「鉄」を加工できる技術と設備が必要と気付きました。そして彼は床に転がっていた一本の「ネジ」にふと目を止めます。鉄と鉄を締結する「ネジ」。信じられないかもしれませんが、江戸時代の日本には「ネジ」が存在しません。「ネジ」を製造するための機械(ネジ切用旋盤)や工具もなかったのです。小栗は西洋文明発展の源は、「精密ネジをたくさん作る能力」だと見抜き、その「ネジ」をそっと懐に入れて日本に持ち帰りました。



ほ~ら、なんとなく親近感。「鉄」、「ネジ」、「工作機械」なんてコトバにボクたちは自然と反応しちゃいます。それからの小栗クンの働きを追っかけてみましょうか。

オレがやらねば、だれがやる

西洋の優れた技術と鉄資源を目の当たりにした小栗、このままでは日本は列強の波に飲み込まれます。早急に近代化を進めて世界と肩を並べる国にしなくてはならないと決意し、小栗はただひとり製鉄所や造船所の必要性を訴えました。しかし、当時の徳川幕府の屋台骨はガタガタ。それどころか、反幕府勢力とのせめぎあいでも汲々としていました。「攘夷だ、佐幕だ、倒幕だなんて関係ねえ、たとえ幕府がなくなっても日本に必要なものを作るんだ」と小栗は必死に進言、やっとのことで製鉄所(後の造船所)建築の許可を得ます。

ところが技術支援をあてにしていたアメリカは南北戦争のゴタゴタ、イギリスは倒幕派の薩摩、長州を支援し敵対、ロシアはポーランドとの紛争中だったため協力を得ることができませんでした。そんな中、フランスでは製糸業を支える生糸を産む「カイコ」に伝染病が蔓延したことで、国内産業が壊滅状態。欧州のシルク産業を牛耳っていたフランスにとって生糸の輸入は絶対に必要だったのです。幕府は積極的に生糸(及び日本のカイコ)を輸出することを条件に、巨額の資金融資と技術支援を得るこ



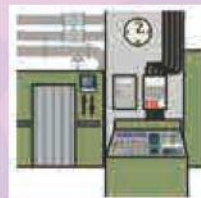
とができました。これは後の「富岡製糸場」に継承されることとなります。

1865年、晴れてフランスからフランソワ・レオンス・ヴェルニー技師を招いて横須賀に製鉄所の建設が開始。製鉄所と称していますが「鉄」を部品に加工できる大型スチームハンマー（鍛造機）もオランダから購入し、近代的な機械や船を製造することを目的とした【総合技術工場】です。当時の日本には「黒船」を作る能力はまだありませんが、修理用の部品は自前で作れる体制が整ったのです。「鉄」を成形したり削ったり…。重工業の基本となる技術のはじまりはここから。後にここは「横須賀造船所」と名を変え強力な軍艦を作れる施設へと成長します。

世界に誇れる「MADE in JAPAN」。自動車やカメラ、家電などの精密な機械商品に目が行きがち。でも本当にスゴイのは、なんといっても日本の『工作機械』なのです。

機械を構成する部品を作る機械…。この『工作機械』こそが、モノづくりの中心にある【マザー・マシン】なのです。様々な『工作機械』が生み出す部品のカタチは無量大。そのマシンの「核」となる部品にわたしたち鈴秀工業の製品は間違いなく関わっていることに誇りを感じます。

ともあれ、日本の機械技術誕生のきっかけは、江戸時代末期にアメリカの工場で小栗が拾った「小さなネジ」だったんですね。



その後の小栗…

1865年からじまった製鉄所の建設が着々と進む中、フランスから巨額の資金融資の道ができました。そして小栗は動きまわります。その金で軍艦と武器を大量に購入する密約をフランス公使のロッシュと結ぶのです。目的は反幕府（薩摩・長州）勢力の一掃。ところが時代の流れはとてつもなくはやかった。あれよあれよと大政奉還、戊辰戦争、江戸開城へと進みます。1868年、倒幕を果たした新政府は幕府の実力者であった小栗の計画を知り驚愕。そして激しく憎みます。それほどまでに恐ろしい人物だったということです。幕府では老中に次ぐ奉行職を歴任した小栗に対し、いっさいなんの取り調べもせず、無慈悲にも武士として切腹さえ許さず、即日斬首してしまいました。享年42。

横須賀製鉄所（造船所）の完成を見ることなく歴史から消されてしまった小栗。

彼の終焉の地、群馬県高崎市倉淵町にある慰霊碑には、その理不尽さを訴える碑文、「偉人小栗上野介 罪なくして此処に斬らる」と今も深く刻まれています。

後の明治新政府が行った「殖産興業」、その礎は間違いなく小栗上野介が築いたもの、まさに『日本近代化の父』は小栗上野介だったといえます。

横須賀造船所

元号が明治に改まって4年の1871年、造船所の第一ドックが完成しました。西洋の進んだ技術を取り入れるというこの施設の目的は、新政府にも引き継がれます。開港され外国船が行き来するため、設置が必要となった西洋式灯台（観音崎灯台、品川灯台等）や殖産興業に大きく寄与した「官営富岡製糸場」や「生野銀山」で使用される機械類もここで作られました。積極的に海外の技師に教を請い、たくさんの若者が学びました。

横須賀造船所の跡地は現在アメリカ海軍横須賀基地となり、それを望む対岸には公園があります。「ヴェルニー公園」、小栗がフランスから招いた技師の名を冠した公園です。本当ならば、「小栗公園」と名付けてもおかしくありませんが彼の名をつけることを憚ったのでしょう。公園中央の広場にはヴェルニー技師と小栗上野介の胸像が並んでいます。最初の胸像は大正11年、彼の死後54年の月日が過ぎていました。現在のものは昭和27年に再建されたものです。



小栗が死んで45年後のおはなしです。日露戦争、最大の決戦「日本海海戦」で最強船団バルチック艦隊に大勝利した連合艦隊司令長官の東郷平八郎、その7年後に小栗の遺族を麹町の自宅に招いて言ったそうです。「（ロシアとの戦争において）軍事上の勝因の第一は（小栗）上野介殿が横須賀造船所を建設しておいてくれたことで、これがどれほど役立ったか、はかり知れない」と感謝の気持ちを述べたそうです。

この一言で、小栗の人生は報われたことでしょう。

ネジを見たら、どうか少しだけ小栗クンのことを思い出してあげてください。

付録・・・こんなことも小栗クン

え～！日本で最初の株式会社、つくったのは小栗クン？

株式会社＝複数の出資者から資金を募ってつくった会社（company）

一般的には、坂本龍馬がつくった「海援隊」が日本で最初の株式会社という認識ですが、ほんのタッチの差で1867年4月、小栗が開設した「兵庫商社」の方が早かったようです。

鴻池善右衛門を頭取とし20人の大阪商人に100万両の資金を出資させて発足。中之島に事務所（商社会所）をおきました。しかし残念ながら、明治維新の動乱で間もなく解散してしまいました。

日本初のホテルも小栗クンがつくらせたの？

開国したからには、江戸に外国人がたくさんやって来ると考えた小栗クン。

「軍艦操練所跡地を、ただで貸すので建築・運営するものはいないか」という小栗クンの呼びかけに応じたのが、清水組（現清水建築）二代目の清水喜助でした。

1867年8月着工、翌年8月に立派に完成したものの、4年後銀座の大火で焼失してしまいました。



体験レポート
第2弾!

夏の盛りに実施された定期健康診断の結果、皆さんいかがでしたか。再検査や要受診の判定があった方は速やかに受診していただくようお願い致します。

ところで良くある質問。『昨年も同じ項目で再検査したから今年はしなくていいかな?』いえいえ、前回受診したお医者さまから特別な指示がない限り、定期診断結果に異常があれば再受診をお願いします。ご自身の大切な身体です。1年に一度はとことんチェック&メンテナンスしましょう。

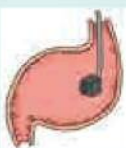
夏号で紹介した『疾病の早期発見・重症化予防』活動において、当社の胃がん検診の受診率の低さが大きな課題となっています。昨(2020)年夏号では胃がん・胃がん検診を取り上げ、保健師の私自身の『胃カメラ体験レポート』を掲載しましたが、今号では鈴木室長(役員)の胃カメラ体験のご紹介です。



健康相談室長「胃カメラを、鼻からいただきました」の巻

「室長から率先してやって貰えませんか?」。

刑部保健師のこの一言から全てが始まった。健康相談室目標の一つに、胃がん検診受診率アップを掲げた数日後である。



「そうだね」というしかない状況であり、その二日後には予約が完了していた。

逃げ道は無い、とため息しか出なかった。暴飲暴食により(結果論)、過去数度は胃カメラを頂いたことはあるが、とにかく痛いというイメージしか残っていない。

ただ、全て「口」からのもので、少しはましと噂の「鼻」からというわがままは聞き入れて貰えた。

前日からの近年感じたことがないような恐怖心の中で迎えた当日。

身長、体重、血圧、眼科健診と始まったのだが、それすらも何となく体がフワフワしてまともに対応できたのかどうか。

そして最後にやってきたメインイベント。

部屋に入り、なぜか車いす(これだけ緊張度アップ)に座らされ、鼻に麻酔薬。

数分後の呼び出しで、健診部屋に入りベッドに腰掛ける。

イケメンサーファー系先生の「検査、頑張りましょうね」の言葉に気を失いそうになる。

大きな看護師さんに横にされ、足を伸ばされ、顔を上げさせられ完全なマリオネット状態。意識が戻らなかったのか、「目をあけましょう」、「呼吸をしましょう」と大きな声で言われてやっと正気。

先生の「はい、始めますね」の言葉で、鼻の中を異物が通過し、時間をかけて喉へ迫っていくのがよくわかる。痛いと言えば痛い十分我慢できるレベル。



そこに先生の「一番しんどいところは通過しましたよ」の言葉。

「えっ、いけるわ」と一気に勝利感に浸る。

その後は胃の中でカメラが動く違和感があるものの、全く動じることなく検査終了。

検査終了後の簡単な結果説明時には、完全に普段の自分に戻っており、冷静に話を聞きながら今後についてもいろいろ考えてみた。

たまたま今回の検診では大きな問題は発見されなかったものの、いつ発生するか分からないのが胃がん。この程度の痛みであれば、毎年受診しようとの気持ちに切り替わった自分。

少々誇らしく自分に酔ってみた。

後日、刑部保健師にこの気持ちを伝えるも「そうですね、まずはお酒を控えましょう」という言葉のみ。

褒められて伸びるタイプなのであるが…。 鈴木

愛鉄連健康保険組合検診費用補助

実際、働き盛りの30代から40代が胃がんに罹患することは少なくありません。

愛鉄連健保の補助を利用して「胃内視鏡(胃カメラ)」を受ける場合の一例を以下に紹介します。

胃がん検診については、50歳以上の健常者が1回/年定期的に実施することが推奨されています。

詳しくは、国立がんセンター公式サイトのがん情報サービス【胃がん検診について】を参照ください。

https://ganjoho.jp/public/pre_scr/screening/stomach.html



	名古屋	三重	山口	
	大名古屋ビルセントラルクリニック	みたき健診クリニック	しおん内科外科クリニック	山口労災病院
対象者	30歳以上	30歳以上	50歳以上・2年に1回	30歳以上
自己負担	¥8,400	¥11,700	¥1,350	¥4,000
利用条件	事前申請必要	立替払いにて ¥18,700 事後補助申請で差額返却	立替払いにて ¥4,500 事後補助申請で差額返却	立替払いにて ¥11,000 事後補助申請で差額返却 個人での申込みは不可

注)2021年9月現在の情報です。利用する時期によっては変更があるかもしれません。ご了承ください。

その気になったら、まずは健康相談室(保健師携帯/090-8324-2966)まで気軽にご連絡ください。

三重製造課の

高桑 博幸さんへ



機械作業にトラブルはつきもの。私の職場CG掛でもよくあることです。うだるような暑さの三重工場第5工場、「シュマーグ研磨機」の砥石を回転させるベルトに不具合が生じました。生産に追われる中、ベルト交換作業を行うことにしました。張り具合を確認しながらの調整は機械の内部に入ったりの繰り返し。吹き出る汗でシャツは背中にはりつき、頬から顎にしたり落ちてきます。誰にも文句を言えないつらい状況に悪戦苦闘、孤独を感じていた時でした、思いがけず高桑さんが声をかけてくれました。

「暑いけど、大丈夫？」
「手伝うよ」って…。延長線上にあるとはいえ、高桑さんの職場は隣の第2工場、少し離れたところ。まして自身も忙しい生産状況だったはず。たぶん「シュマーグ研磨機」稼働音がしてなかったこと、機械内部にひんぱんに出入りする私の姿に異変を感じてくれたのでしょう。

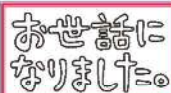


自分の作業だけでなく周囲の状況に気を配り、何かあればすぐに行動する姿に、「自分自身もこんな風にならわね！」と思いました。あのとき一緒に汗だくになって手伝ってくれて、本当にありがとうございました。

三重製造課 土井 勇貴

品質保証部の

崎岡 良太さんへ



三重工場のPL掛を構成するメンバーは少なく、私を含めて現在でも3名。ここで発生するクレーム、トラブル、品質問題など社内異常の対応は否が応でも自分に関わることになります。

資料作成が苦手な私にとって、品質会議の資料作りは頭痛のタネ。要領よく説明するための文章が浮かばず、今でもフリーズばかりしています。一番の難関は「真因追求」の「なぜなぜ」繰り返し。わかっているつもりだけど論理的に展開できず、途方にくれることもしばしばです。



思えば、崎岡さんが三重工場の品質保証を担当していた当時、よく相談にのってもらいました。

崎岡さんの業務都合に配慮することなく、毎月のように押しかけては相談する私に嫌な顔せず自分の仕事を後に回し、惜しむことなく自分の時間を費やしてくれました。今思えば「すごく迷惑かけちゃってたなあ」と反省しています。相手の話真剣に耳を傾け、自分のことのように取り組んでくれる姿勢に頼りっぱなしでした。今では、三重工場と本社で働く場所は離れましたが、いつかまた一緒に仕事がしたいなあと思っています。ありがとうございました。

三重製造課 高桑 博幸

三重製造課の

太田 賢さんへ



私が三重工場の品質保証に従事していた頃、特に大変だった仕事として思い出すのはCF掛での新規部品立ち上げの苦労です。

パーツフォーマーというのは、通常の量産時にはリズムカナルな音をたて、約1秒に一個ずつ同じ形の部品を生み出すマシン。けれど、この安定生産を可能にするまでには「生みの苦しみ」ともいえる試作が必要です。材料、金型、設備のセッティング…。量産のための最適条件を導き、確立する作業です。

夜半(夜明け?)までひたすら続くトライ&エラーの繰り返し、終わりの見えないトンネルの中を手探りで歩くようなもの。一つの課題がクリアできても、新たな課題が発生する。そんなNG判定が続いても、太田さんは「どこがアカンかったんやろう?」「そしたら、次はどないしたらエエやろうか?」と、クサることなく現場に戻っていく。



彼の後ろ姿を見て、「仕事を成し遂げる執念」を感じることがありました。今でもときどき、自分に問いかけることがあります。

「あの時の太田さんみたいに、今の僕は執念をもって、この仕事に向き合っているだろうか?」って。

品質保証部 崎岡 良太

GLのひとり言

三重製造課

芝田 裕司

「限られた時間を有効に」

去年から続くコロナウィルスの影響により、色々と行動に制限のかかる環境に皆さんはどう向き合っているのでしょうか?

昔テレビで、とある芸能人が人生はドラマの構成に似ていると言っていました。始まって10分ぐらいが10歳まだ何が起きるかわからない。20分(20歳)ぐらいたつと物語が見えてくる。劇的に変化するのが30分から40分(30歳から40歳)だから30~40歳はしっかり生きな、人生は変わらないと。この言葉が何故か心に突きささる今日この頃。

私は趣味らしい趣味がなく、コロナの影響もあり休日は自宅ダラダラと過ごす日々が続いていました。このままだと駄目になっていくなーと思い自堕落な日々を変える為、去年の夏から始めたのが楽器のベースです。ベースは、目立たない地味な楽器と思う方が大多数だと思います。基本的には、リズムや進行を単音で演奏するのが主な役割で、これだけだと完全に裏方の仕事のように地味ですが、実はスラップ奏法というベースの弦を親指で叩きつけ、人差し指で引っ張って演奏することにより攻撃的な演奏もできたりするので、



主役を演じることのできる楽器だったりします。この地味さと、たまに目立つ感じが自分の性格に合い少しづつハマっていきました。

また、学生の頃からの友人が楽器に詳しく、月に1度家に遊びに行つては、強化合宿と言う名目で呑み会をしつつ、色々と教えてもらい今では趣味と呼べるものになっています。趣味ができた事により、今までダラダラしていた休日が少し改善され時間を有効に使うことが出来少しは変わったのかなと思っています。

この「GLのひとり言」が鈴秀四季に載る頃に、コロナウィルスの流行がどうなっているかはわかりませんが、皆さんも時間を持て余しているようなら、何か始めてみてはどうでしょうか?

つまるどころ “ご縁”なのです

総務部 富田 晃弘

今秋、一人の男が定年を機に退職します。総務部の立場だけでなく、その人柄でたくさんの先輩や後輩たちと接してきました。そして、この社内報制作スタッフとして重要な役割も果たした彼こそが、“鈴秀の昭和と平成を知る”数少ない先輩でもありました。
そんな彼の『鈴秀ものがたり』。少しだけおつきあいください。

第1章 トミタ君 鈴秀への道のり

浪人を経て入った大学、1年生のとき友人とたまたま見つけたゴルフ場(木曾カントリー倶楽部)での住込みバイト、開田高原での避暑と実益を兼ねた夏の居場所は、毎年決まってここでした。時はバブル直前、ゴルフは尾崎3兄弟、青木功が牽引して社用や富裕層で一大ブームの時代のおはなしです。

1984年 大学4年生の夏。1961年生まれで同い年のカール・ルイスがロス五輪で大活躍、4個も金メダルを獲得していたころ、大学の友人たちはせっせと就職活動の真っ最中。大学へも行かず、ゴルフ場での忙しい日々が過ぎ、秋風を感じるころになっても就職先が決まっています。その呑気さにあきれたキャディマスターが、「週末に催されるコンペ《鈴秀会》を主宰する『鈴秀工業』に応募してみたら？」とアドバイスしてくれました。2代目の敦雄社長は朗らかな方、何度かキャディについたこともあります。社内外のメンバーが参加する和やかな雰囲気「鈴秀コンペ」にも、以前キャディを務めたこともあり、“ご縁”を感じました。さっそく履歴書を準備してコンペ当日のスタート前、当時の総務部長だった水谷さんに直接手渡しして応募しました。その後訪問しての学科試験、そして敦雄社長以下6名の役員との面接でした。鈴木輝彦専務、伊藤工場長、笹間部長、石原経理部長、三宅輸出部長、ドキドキしたのを覚えています。



第2章 昭和60年…バブル前夜の社会人スタート

昭和60(1985)年 4月、晴れて鈴秀工業に入社。同期は大卒4名、高卒13名。大卒も3ヶ月の現場研修がありました。私はCHのW26号伸線機を実習、中越さんと松下さんに指導してもらいました。

昭和60年。今の若い人達からすれば遠い昔のおはなしです。戦後35年、高度成長期を経た日本経済は絶頂期、そしてまだ見ぬ「平成」を迎えようとしていました。

当時の世の中、働くお父さんたちはモータリゼン世代が主流。1960年代の安保闘争世代は40代の半ば、1968年から70年にかけての全共闘世代も30代半ばでバリバリの現役です。

けれど意外にも、鈴秀工業は予想と違ってアットホームな雰囲気が漂っていて、ひとまず安心。けれど1年後には同期は半分減り、5年もすると残ったのは現場に1人、そして私の2人だけ。にわか起こるバブル景気は人手不足をあり、世は空前の転職ブームに突入。本屋の店頭にはぶ厚い転職雑誌「Being」や「デュエダ」が並びました。



第3章 トミタ君 とりあえず営業マンになる

正式に配属された部署は、なんと「営業部」。CHQワイヤのデリバリーに始まり、2年目には磨棒鋼の需要家や問屋さんを担当しました。当時の上司は笹間部長。モタモタしていると怒鳴られる、とにかく怖い部長でした。営業生活も5年目になったころ異動辞令が発せられ、今度は「品質保証部」への配属となりました。栗原部長、佐藤(三郎)課長のもとで働いてはいたはずですが、正直あまり覚えていません。なぜなら、在籍期間は驚くほどの短期間。

記憶を絞り出しても、「選別作業にあけくれていた」っていう黒歴史だけです。



営業事務所の風景
今の本事務所です

第4章 晴天の霹靂!?「富田晃弘 総務勤務を命ずる」

たった3ヶ月の品証配属を経て平成2(1990)年12月、突然敦雄社長の“ツルの一声”で辞令が届きました。総務部で社長の秘書的な業務をしていた女性社員が出産を機に退職。ゴルフ場のアルバイトをしていた学生時代から知っている私に白羽に矢が立ったようです。

とはいえ、男性社員である私に秘書的な業務が務まるかどうか、大いに不安。栗原部長からは、ただ「ガンバレ!」というひとことアドバイスで送り出されました。平社員の私から見れば、社長といえば雲の上の存在。先輩社員たちのウワサばなしでは「とても怖くて厳しい」とのこと。実際、社長が在席していると事務所はジリジリした雰囲気、不在のときはホンワカ。こうして私の総務生活がスタートしたのです。



第5章 それまでの鈴秀、それから鈴秀

私の入社から3年後の昭和63(1989)年、鈴秀工業は2つめの工場を三重県菟野町に建設しました。前年に入社された鈴木喜雄 現専務が冷圧部門を立ち上げました。間髪いれず平成2(1990)年には鈴木輝彦 前顧問の指揮のもと村中工場長とともに山口工場をスタートさせました。

緑区にある社員数170名ほどのこじんまりした会社が、どんどん大きく成長している様子をワクワクしながら体感すべきところですが、当時の私といえば、日々発生する事象に埋没してそれどころじゃありませんでした。

今となっては、“あの頃”が鈴秀工業の大きなターニングポイント。当時のことを語れる人も少なくなっていました。「あの時、自分にもう少し余裕があれば」と悔やんでいます。



製造事務所の風景
平成4年頃?

第6章 震災、叙勲、世代交代、そして…

平成7(1995)年1月17日、私が入社して10年目を迎える年のことでした。早朝に起こった「阪神淡路大震災」。主要取引先である神戸製鋼所さんをはじめ、取引先が大きなダメージをうけました。素材調達に翻弄する常務(鈴木清詞現社長)、そして納期調整に追われる池田部長、小川部長、青木次長以下営業の面々。日本中が大混乱に陥ってしまいました。なんとか危機を脱したものの、後に「失われた10年」と称されるバブル景気崩壊余波とあいまって、なんとなく元気のない日本経済でした。

翌年のこと、鈴秀工業に明るい知らせが舞い降りてきました。永年にわたる業界発展の功績を讃えて贈られる【勲五等旭日双光章】を敦雄社長が平成8(1996)年秋、叙勲されるという朗報です。これを契機に社長職を譲り、世代交代。同年の取締役会をもって鈴木清詞新社長、鈴木喜雄新専務の新体制がスタートすることになります。

翌、平成9(1997)年の2月7日には敦雄社長の叙勲と会長就任、清詞新社長、喜雄新専務の披露パーティーを名古屋観光ホテルで盛大に執り行う計画でした。晴れの叙勲の儀を無事に終えた年末、健康診断で敦雄会長に異常が発見され即入院となります。パーティーの引き出物として準備する写真集「風光百景」、掲載作品の選定の打ち合わせのため病室へも伺いました。手術・療養の甲斐なく、3ヶ月後の3月12日、享年72歳で鬼籍に入られました。3月28日、小新井品証部長の陣頭指揮のもとで執り行われた覚王山「日泰寺」での社葬までの時間は、あっという間に過ぎていきました。



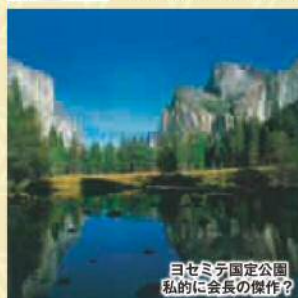
勲五等雙光旭日章

社員(特に管理職)から、怖い厳しいと畏れられていた敦雄社長でしたが、かたわらで仕事をしていくうちに厳しい叱責のフォローなのか、優しい言葉を掛けてもらうこともしばしば。気づけば私にとって敦雄社長は、怖い人ではなく“ちょっとわがままな上司”くらいになっていました。

本音のところでは、優しいさっぱりの敦雄社長は時に会社の管理職を自宅に招いてガーデンパーティを開くこともありました。社外の方にも声掛けし、楽しくにぎやか。会社ではめったに見られない笑顔っぱいの敦雄社長を思い出します。このパーティーがきっかけか、仕事納めは旧スズヒデホール(現sonosakiエ 金山)で盛大な屋台イベントとして開催していた時期がありました。再度復活しコロナで見送られてはいますが年末の恒例イベントのルーツだったんじゃないでしょうか。



鈴木敦雄会長の雄姿



ヨセミテ国定公園 私的に会長の傑作?

敦雄社長は趣味人でもあり、絵画への造詣は深く横山大観やユトリロなど、購入した作品の管理も私の仕事になりました。また、歌舞伎音楽として親しまれる「長唄」が趣味で、毎春に松坂屋ホールで催される「夕音会」という発表会には、社内外から駆けつける方への対応も私の大切な役目でした。ただ、何度聞いても唄の内容はさっぱりわからず、自分の無粋さを再認識するばかりでした。

忘れてならない敦雄社長の趣味、それはなんといっても「写真」でしょう。スウェーデン製のカメラ「ハッセルブラッド」と三脚を担いで撮りに撮った作品の数々は、どれも素人とは思えない出来栄で幾度か個展にも出展しています。季節ごと、総務が応接室に飾る写真は、どれも思い出深い敦雄社長の作品たちです。

同じ構図の写真をいくつも並べて、「どれが良いか」と意見を聞かれて返答に窮したこともしばしば。麻雀好きの社長と一度だけ卓を囲ませていただいたこと、左ハンドルのベンツのドライバーを無理やりやらされ、緊張しながら運転したこと、たまにおいしいお昼をごちそうになったこと…。叱られてばかりのはずなのに、思い出するのはそんなことばかりです。

第8章 若手から中堅社員へ

平成の半ばころまでは電車通勤の社員が結構いました。JR大高経由名鉄鳴海駅を朝・夕2回ずつ巡回する送迎バスがありました。私自身も利用者のひとり。仕事現場で直接関連しているわけではなかったけれど、乗りあった現場の先輩たちにかわいがってもらったものもです。特に夕刻巡回では内田さんや近藤さん、青木さん、笹間部長によく飲み連れて行ってもらいました。

鈴秀の役職・年齢を超えたフランクな風土のおかげで、麻雀や飲み会では高橋さん、佐藤(三郎)さん、菅井さん、加藤(三好)さん、寺島さん、鈴木(恭久)さんをはじめお世話になったみなさん、年齢は上ですが仲間のような気がしていました。



入社から15年を過ぎた平成13(2001)年3月、課長となりました。永く総務(管理)部長を務められた水谷部長が前年の9月に退任され、新たな上司となったのは品質保証部で鬼と恐れられた小新井部長。入社当時の中間営業部長も怖かったけれど、当時の私は所詮新人、立場も変わりプレッシャーは相当大きくなりました。課長に就任した直後の4月、悲しい事故が発生しました。この時、会社の責任者として毅然と立ち振る舞う小新井部長の姿は忘れることはありません。改めて総務(管理)部の役割と責任を感じる出来事でした。

大学生、高校生の採用も私の重要な仕事です。たくさん弟、妹たちを迎え入れました。彼らもそれぞれ歳を重ね、成長している様子を見るにつけ、感慨深いものがあります。同様に平成5年からはじまったインドネシア実習生たちのこと。当初は3人を採用し磨棒に2名、CHに1名を配属。同時期に神戸製鋼所からの出向で来られた井伊課長を中心に、現場のおじさん、おにいさんが良く面倒を見てくれました。実習期間を経て、鈴秀を卒業し帰国していった歴代の実習生もまた、私の弟たちです。

井伊課長は本社の磨棒とCHの製造を担当、本当に働き者で部下たちの面倒見が良い人徳者でした。さらに付け加えるならば、常に宴会の主人公でもありました。

第9章 鈴秀、「工業」への挑戦

平成11(1999)年、鈴秀工業は新たな分野に挑戦しました。廃材木と廃プラスチックを混成して成型する環境対応型建材「スーパーウッド」の生産・販売です。有松に新工場を建設し官公庁やゼネコンを相手に展開を図りました。令和の時代では“あたりまえ”となった脱プラスチック、脱CO₂問題。どちらの課題にも一石を投じることができる新商品でありました。けれど市場の整備と原料の安定確保がうまくいきません。時代を先取りしすぎたこの事業は4年余りで幕をひくこととなります。

新規事業のための人材採用だけでなく、この時期から新たな社員の中途採用で一機に社員数は増加。2000年には270名(私の入社時は170名)に膨れ上がっていました。

総務担当の私としては、新事業に携わっていた社員たちの働く場所がなくなることが心配でした。鈴秀は創業以来、リストラ(人員整理)をしない会社。清詞社長は、それを踏襲して既存の各部署に受け入れを指示してくれました。彼らを含め、この時期に他の業界から入ってきた新しい仲間が鋼材の世界にとらわれず、それぞれの場所で活躍して現在の鈴秀を牽引してくれています。

「スーパーウッド」への挑戦、この経験は鈴秀が鋼材という分野にとらわれることなく、その社名にある「工業」へ真正面から向かい合った「挑戦の証」だったと思っています。

第10章 “ありがとう”で終われるシアワセに感謝

名古屋生まれの名古屋育ち。ゴルフ場でのご縁がきっかけで入社、就職氷河期の経験なし。あのころは、時代の流れがゆったりだったようです。

リーマンショックを切り抜け、インドネシア・中国への進出、山口第二工場…。社会人として昭和・平成・令和と過ごす中、どんどん鈴秀工業は成長し、社員数も今や350名。

総務の仕事に携わり、歴代の上司からは「計画的に!」「事前準備が不足している」「組織的な活動を!」と叱られることばかり。自分の弱点を認識するも、なかなかうまく立ち回れない自分を改めて反省します。ただただ、目の前の出来事に対応し善後策を講じる。現状より悪い状況にならないよう、こまごまとした業務でかけ働きを心掛けました。鈴秀でたくさんの人と出会い、

そして別れを経験させていただきました。ふっと思い出すのは、通いなれた大高の工場、いつもながらの先輩や後輩たちとの飲み会、新入社員たちの緊張した顔、インドネシア実習生たちの笑顔…。東尋坊やお伊勢さんへのバスツアー、ガム、石垣、パタヤの親睦会旅行…。それから、それから…どの場面にも、えにし深い方たちの顔。

どこかのショッピングセンターで晩酌の買い物をする私の姿を見かけたら、ぜひ遠慮せずに声をかけてください。これからさっと、さみしくなると思うので…。



単なる飲み会風景 弟のような木原くん



石垣島のおもいで



東尋坊ツアーにて 僕は、若かりし日高岩井の山本さん



総務部 富田 晃弘

(注: この手記は、富田さんへの取材をもとに編集部が作成致しました。文中に登場された個人の皆様、どうか広い心でお読みください。)



あかちゃん誕生

個人情報保護のため、
割愛させていただきます。



帰国実習生からのメッセージ Terima kasih

山口



エコ デルマワン



ムハンマド フィクリ ジャウハリ



レナルディ ファフレザ



本社



サルピアン



個人情報保護のため、
割愛させていただきます。

『鈴秀四季』の目的と役割

- この紙面を通じて、社員相互のコミュニケーションを円滑なものとし、一体感と独自性を持った組織運営の一助となる。
- この紙面を通じて、鈴秀の未来・将来へつながる経営の方向性や方針を、社員及びその家族へ伝える一助となる。
- この紙面を通じて、鈴秀社員として会社及びそれを取り巻く環境についての認識知識を共有できる一助となる。
- この紙面を通じて、ここ鈴秀で働く仲間たちの活躍やエピソードをピックアップし、一部なりとも紹介できる一助となる。

なによりも、この紙面は鈴秀社員各位の協力と工夫によって作り上げられ、その一頁一頁が風土、文化へ昇華することを願う。

編集後記

残暑も和らぎ、だんだんと過ごしやすいく日が続くようになってきました。近頃は少しずつ外出する機会が増えてきたという人も多いのではないのでしょうか？私個人としては、ライブや演劇等のイベントも県内での開催数が増えており、遠出せずとも楽しめるようになってきました。久々にワクワクしながらこれからの予定を立てています。まだまだ各自の感染対策は必要だと思いますが、今よりも気軽に、外出による気分転換ができるようになっていくといいですね。

最近、新たな習い事や自己啓発など、平日の仕事が終わってからの時間を以前よりも充実して過ごすようになりました。会社も新しい年度を迎えたので、この機会に何か新しいことを始めてみるのもいいのではないのでしょうか。

奥野

編集後記

先ずはサラリーマン生活を無事に終えることができたことに感謝します。36年を振り返りますと、いろいろな方との出会いがあり別れがありました。“袖ふれ合うも他生の縁”。輪廻転生を信じるわけではありませんが、鈴秀工業の皆さんと一つの会社集ったのも何かのご縁、そしてこのご縁はここで切れるわけではなく、今後も続いていく事でしょう。今年鈴秀工業が、木曾カントリー倶楽部の会員でなくなった事実、これも一つのご縁かと。

富田

値段を1円500円まで下げた